

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【公開番号】特開2015-204881(P2015-204881A)

【公開日】平成27年11月19日(2015.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2015-072

【出願番号】特願2014-85338(P2014-85338)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月31日(2016.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

図柄を変動させて行う図柄変動ゲームで予め定めた大当たり表示結果が表示された場合に、遊技者に有利となる大当たり遊技が付与される遊技機において、

前記図柄変動ゲームが大当たりとなるか否かを判定する大当たり判定手段と、

前記大当たり判定手段の判定結果が肯定の場合、前記大当たり遊技を付与する大当たり遊技付与手段と、

前記大当たり判定手段の判定結果が肯定の場合において前記大当たり遊技付与手段によって前記大当たり遊技が付与されたときには、前記大当たり遊技の終了後に、規定回数の図柄変動ゲームを上限として、遊技者に有利となる有利状態の制御を行い得る状態制御手段と、

前記状態制御手段によって有利状態の制御が行われる図柄変動ゲームの残り回数としての制御残り回数を特定する制御残り回数特定手段と、

前記有利状態の制御が行われる図柄変動ゲームの残り回数についての報知を行わせるための報知残り回数を特定する報知残り回数特定手段と、

前記報知残り回数特定手段によって特定される報知残り回数に関する報知を報知手段に行わせる制御を行う報知制御手段と、を備え、

前記制御残り回数特定手段は、前記大当たり判定手段の判定結果が肯定となり、前記大当たり遊技付与手段によって前記大当たり遊技が付与されることにより、前記制御残り回数を初期化し、

前記報知残り回数特定手段は、前記大当たり判定手段の判定結果が肯定となり、前記大当たり遊技付与手段によって特定大当たり遊技が付与されることにより、前記報知残り回数を継続し、

前記報知制御手段は、前記大当たり判定手段の判定結果が肯定の場合において、前記大当たり遊技付与手段によって前記特定大当たり遊技が付与されたときに、特別条件が成立すると、前記制御残り回数特定手段によって特定される前記制御残り回数と、前記報知残り回数特定手段によって特定される前記報知残り回数との差を上限として、1回の特定大当たり遊技に対して複数回に分けて、前記報知残り回数に上乗せ回数を加算する上乗せ報知を前記報知手段に実行可能に制御する遊技機。

【請求項 2】

前記有利状態は、前記図柄変動ゲームが実行され易くなる入球率向上状態である請求項

1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記報知制御手段は、前記大当り判定手段の判定結果が肯定の場合において、前記大当り遊技付与手段によって前記特定大当り遊技が付与されたときに、前記制御残り回数特定手段によって特定される前記制御残り回数と、前記報知残り回数特定手段によって特定される前記報知残り回数との差が大きいときのほうが小さいときよりも高い確率で、多くの回数に分けて前記上乗せ報知を行う請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記報知制御手段は、前記大当り判定手段の判定結果が肯定の場合において、前記大当り遊技付与手段によって前記特定大当り遊技が付与されたときに、前記報知残り回数特定手段によって特定される前記報知残り回数が少ないときのほうが多いときよりも高い確率で前記特別条件が成立する請求項 1 ～ 請求項 3 のうち何れか一項に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記報知制御手段は、前記大当り判定手段の判定結果が肯定の場合において、前記大当り遊技付与手段によって前記特定大当り遊技が付与されたときに、前記報知残り回数特定手段によって特定される前記報知残り回数が少ないときのほうが多いときよりも高い確率で、前記制御残り回数特定手段によって特定される前記制御残り回数と、前記報知残り回数特定手段によって特定される前記報知残り回数との差を上乗せ回数として一回で前記報知残り回数に加算する上乗せ報知を前記報知手段に実行可能に制御する請求項 1 ～ 請求項 4 のうち何れか一項に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記問題点を解決する遊技機は、図柄を変動させて行う図柄変動ゲームで予め定めた大当り表示結果が表示された場合に、遊技者に有利となる大当り遊技が付与される遊技機において、前記図柄変動ゲームが大当りとなるか否かを判定する大当り判定手段と、前記大当り判定手段の判定結果が肯定の場合、前記大当り遊技を付与する大当り遊技付与手段と、前記大当り判定手段の判定結果が肯定の場合において前記大当り遊技付与手段によって前記大当り遊技が付与されたときには、前記大当り遊技の終了後に、規定回数の図柄変動ゲームを上限として、遊技者に有利となる有利状態の制御を行い得る状態制御手段と、前記状態制御手段によって有利状態の制御が行われる図柄変動ゲームの残り回数としての制御残り回数を特定する制御残り回数特定手段と、前記有利状態の制御が行われる図柄変動ゲームの残り回数についての報知を行わせるための報知残り回数を特定する報知残り回数特定手段と、前記報知残り回数特定手段によって特定される報知残り回数に関する報知を報知手段に行わせる制御を行う報知制御手段と、を備え、前記制御残り回数特定手段は、前記大当り判定手段の判定結果が肯定となり、前記大当り遊技付与手段によって前記大当り遊技が付与されることにより、前記制御残り回数を初期化し、前記報知残り回数特定手段は、前記大当り判定手段の判定結果が肯定となり、前記大当り遊技付与手段によって特定大当り遊技が付与されることにより、前記報知残り回数を継続し、前記報知制御手段は、前記大当り判定手段の判定結果が肯定の場合において、前記大当り遊技付与手段によって前記特定大当り遊技が付与されたときに、特別条件が成立すると、前記制御残り回数特定手段によって特定される前記制御残り回数と、前記報知残り回数特定手段によって特定される前記報知残り回数との差を上限として、1 回の特定大当り遊技に対して複数回に分けて、前記報知残り回数に上乗せ回数を加算する上乗せ報知を前記報知手段に実行可能に制御することを要旨とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

上記遊技機について、前記有利状態は、前記図柄変動ゲームが実行され易くなる入球率向上状態であるように構成としてもよい。

上記遊技機について、前記報知制御手段は、前記大当り判定手段の判定結果が肯定の場合において、前記大当り遊技付与手段によって前記特定大当り遊技が付与されたときに、前記制御残り回数特定手段によって特定される前記制御残り回数と、前記報知残り回数特定手段によって特定される前記報知残り回数との差が大きいときのほうが小さいときよりも高い確率で、多くの回数に分けて前記上乗せ報知を行う構成としてもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

上記遊技機について、前記報知制御手段は、前記大当り判定手段の判定結果が肯定の場合において、前記大当り遊技付与手段によって前記特定大当り遊技が付与されたときに、前記報知残り回数特定手段によって特定される前記報知残り回数が少ないときのほうが多いときよりも高い確率で前記特別条件が成立する構成としてもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

上記遊技機について、前記報知制御手段は、前記大当り判定手段の判定結果が肯定の場合において、前記大当り遊技付与手段によって前記特定大当り遊技が付与されたときに、前記報知残り回数特定手段によって特定される前記報知残り回数が少ないときのほうが多いときよりも高い確率で、前記制御残り回数特定手段によって特定される前記制御残り回数と、前記報知残り回数特定手段によって特定される前記報知残り回数との差を上乗せ回数として一回で前記報知残り回数に加算する上乗せ報知を前記報知手段に実行可能に制御する構成としてもよい。